

新年
謹賀

草深理事長あいさつ

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、多くの皆様に当園の運営にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

役職員、子ども一同元気に新年を迎えることができました。

家庭的養護と児童の自立を目指し、地域に根差した児童福祉事業の実施に努力してまいり所存です。

下記に記載した、一時預かり所を昨年末に開設しましたので、お知らせいたします。今年も昨年同様のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。



松本児童園一時預かり所 開設

12月より、『松本児童園一時預かり所』を開設しました。

児童相談所からの委託による一時保護と、市町村からの委託によるショートステイの2つの機能を持つ、“子どもを一時的にお預かりして生活の支援をする施設”です。一般の家庭に近い養育環境を実現するため、トイレの個室化やキッチンの設置をはじめ、小学生以上の子どもには個室を提供できるよう、改修工事を行いました。利用中も、継続して保育園や学校に通えるよう支援する方針が特色です。

開設し2か月がたちました。児童の入れ替わりが頻繁にあり、かつさまざまな事情を抱えた児童が共同生活を送っています。職員は、入所児童とはまた違った処遇の難しさを感じています。その中で、一番大切なのは、子どもが安心して生活できる環境を提供することです。まだまだ手探りの状態ではありますが、地域のニーズに応えられる場所になるよう努めていきたいと思っています。

リビング



個室



～2021年を振り返って～

花火であしながおじさん

6月5日、松本児童園近くの梓川河川敷から75発の花火が打ち上げられました。児童養護施設の子どもたちに花火を贈る「花火であしながおじさん」という企画で、華松煙火様、アルプス煙火工業様のご協力により開催されました。「わあ～すごい!」「きれい!」と目を輝かせて花火を見上げる子どもたち。コロナウイルスの影響で窮屈な日々を送っていた私たち職員も、子どもと一緒に花火を見上げて、心温まる特別な時間を過ごすことができました。素敵な時間をありがとうございました。

きれいな花火
ありがとう



ながた寿しさんの食事奉仕

12月1日、ながた寿しさんによるお寿司の奉仕がありました。子どもたちが大好きな恒例行事です。子どもたちは本当にこの日を心待ちにしており、奉仕していただけると決まってから、「どんなお寿司を食べようかな」「絶対おかわりしていっぱい食べる」とワクワクドキドキ。当日は、食べたいお寿司を注文して、目の前で握ってもらいました。滅多にない機会に、子どもたちは目を輝かせながら口いっぱい美味しいお寿司を頬張っていました。とても幸せなことです。ありがとうございました。



昨年はコロナウイルスの影響で行動制限がかかり、外出や家族交流ができず、窮屈な生活を送った時期もありました。10月頃から少しずつ何気ない日常が戻ってきて、子どもたちの表情も職員の表情も和らいていったように感じています。

年末年始は多くの子どもたちが家族やホストファミリーさんのお家で過ごし、静かな2022年のスタートとなりました。今年はどんな一年になるのかな、と期待と不安を感じつつ、職員も気持ちを新たに子どもたちを迎え入れました。去年は、遠出外出ができなかったのが、今年こそキャンプや遊園地などに連れて行ってあげたい!! 社会経験をたくさん積ませてあげたい!! そんな思いを強くしています。

そして、気がつけば1月も残りわずかとなりました。年明けと同時に、またまたコロナウイルスが猛威を振るっており、外出や家族交流の禁止、施設内でもマスクをつけての生活、と苦しい日々が続いています。コロナに負けず、元気いっぱいに登校して行く子もいれば、憂鬱そうな表情で職員に背を向けて出て行く子もいます。職員は、「いってらっしゃい」と子どもの背中を押し、よく頑張ってきたね、という気持ちを込めて「おかえり」と子どもたちを迎えます。そんな些細なやりとりを大切にしながら子どもたちと関わっていきたいと思っている今日この頃です。本年もよろしくお願いいたします!!

